

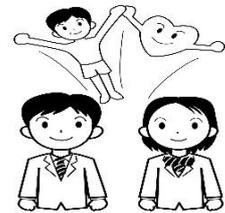
相談室だより

令和3年度 No. 2

練馬区石神井西中学校 相談室
安達 田中 中村

2021年のカレンダーも残り少なくなり、2学期も折り返し地点を過ぎました。まさに「光陰矢の如し」ですね。また、2学期は期間が長いので大変だなというイメージもありますが、期間が長い分、じっくりといろいろなことに取り組んで充実させられるのではないのでしょうか。

相談室 コラム



日々の生活の中で、何だか分からないけどもやもやした気分になったり、イライラしたり反抗的な態度をとってしまうことはありませんか。そして、そんな時には自分も保護者も周りの大人たちも『思春期だから・・・』の一言で片づけていませんか。

一思春期って一

では、一体「思春期」とは何なのでしょう。その時期やその間に起こっていることも含めて考えていきたいと思います。

まず、時期的には小学校高学年から中学校、高校にかけてのいわゆる「第二次性徴」の始まりから終わりを迎えるまでの間とされ、「反抗期」とセットで考えられることも多いです。

また、人の成長過程の中で、心身ともに急激な変化が起きる時期になります。

見た目の変化が大きくなる等の身体的変化は心理的にも大きく影響し、変化をもたらすホルモンは成長過程の脳の機能にも影響を及ぼし、情緒的な不安定さ、衝動的行動等にも関係していると考えられます。

そして、心の発達や変化には多くの要因が関係し、社会や学校、仲間集団、家族からの影響を受けながら一人の大人として自分を確立していきます。このことは、「自我同一性（アイデンティティ）」を獲得するとも言われ、これこそが自分自身であるという実感を持つことだとも考えられます。また、この時期はこれまでの保護者を中心とした大人とのタテ関係から友だちとのヨコ関係が重要になってきます。

子どもたちが自分自身に起こっている変化に戸惑ったり、反発しながら少しずつ「自分」を作り上げていくのが「思春期」でもあるので、この時期を「嵐」「疾風怒涛」としばしば表現することもあります。

また、様々な変化が「思春期危機」と呼ばれるような不適応状態を引き起こしてしまうこともあります。このような時には注意信号として現れることが多いので、家庭や学校等のそれぞれの場面での変化の気づきを情報交換すること、総合的に判断することがSOSをより早く見つけることにつながります。

◆相談室利用について◆

秘密は守ります

特に相談したいことはないけど、ちょっと誰かに話を聞いてもらいたい、静かな場所で落ち着いて話をしたい時などにも気軽に相談室を利用してください。

原則は予約ですが、当日でも予約の入っていない時には相談室のドアは開いているので、声をかけてください。

予約は担任の先生、学年の先生、保健室の先生にお願いしたり、直接相談室に来室してください。

また、毎週月曜日と木曜日の昼休みは1階の第二相談室を開放しています。

☆保護者の方の相談について☆

できるだけ相談内容に沿った適切な対応を目的に、十分な聞き取りを事前にさせていただければと考えております。そのため、初回は心のふれあい相談員によるインテーク面接を実施し、その際に相談内容を含めた事務的な質問も幾つかいたしますので、ご了承ください。

お話を伺ったのちに、担当者を決めさせていただいて担当者より次回の日程等連絡を差し上げます。

スクールカウンセラー	安達（水曜日）	田中（金曜日）
心のふれあい相談員	中村（月曜日・木曜日）	

チリの教科書事情

心のふれあい相談員の中村さんは一時期、南米の国チリで生活していました。その時の経験を基にチリの生活に関する話を聞きました。

チリの学校は3月にスタートします。1. 2月の長い夏休み終了してから学校が始まります。夏休み中の2月には新しい私服の購入、学校から渡された教科書リストを確認しながら、保護者が一冊ずつ教科書を買って求めて本屋を探し回ります。教科書は決して安いものではなく、1冊3000円程度です。また、在庫も安定していないので、見つけるのも一苦労。学校が始まっても全部が揃わないことも珍しくありません。その一方で日本大使館に日本人子弟の登録をしておけば、該当学年の教科書が地球の裏側にあるチリ、サンチアゴまで届けられます。輪ゴムで揃えられた教科書一式が自動的に手に入るのです。

このことは、外国に住んでいながら、日本の丁寧な教育システムに感心し日本人であることを心底ラッキーと思った事柄の一つです。

〈中村〉

